

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

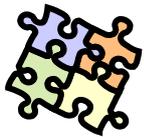
2012年12月発行

はもりあ

今年の1年を締めくくる今月のおすすめ講座は、12月9日「男も女も更年期～これからの人生を、笑顔ですごしませんか～」、12月16日「地域社会に女性の力を...『自治会で女性の活躍をすすめるために』」です。詳しくは中面をご覧ください。

年末年始のお知らせ

はもりあ四日市は、年末は12月28日（金）まで、年始は1月4日（金）から開館します。



ワーク・ライフ・バランス力向上セミナー 「人を生かす企業経営」を開催しました！

【10月30日 講演会の報告】

10月30日に四日市市総合会館で開催したワーク・ライフ・バランス力向上セミナーでは株式会社東レ経営研究所特別顧問の佐々木常夫さんをお招きし、「生産性向上への近道教えます！『これからの経営に求められること～社員を生かすマネジメント～』」をテーマに講演を行いました。

佐々木さんは、自閉症の長男とうつ病の妻を持ち、家事と育児に追いかける状況の中で、破綻会社の再建や様々な事業改革に取り組みられてきました。家事・育児と仕事を同時にこなす必要があったため、仕事を行ううえでは「1年間の仕事の計画を作り最短コースで仕事を進める」「本当に必要な会議だけを行う」「事務処理・会話・資料などのシンプル主義」など時間節約と効率性を重視し、これまでの困難を乗り越えてきた自身の体験をふまえ、「ワーク・ライフ・バランスとは個人も企業も共に成長する経営戦略である。」と話されました。これからの企業経営にとって重要なポイントとなる言葉ではないかと感じました。



<講演会での様子>

【11月20日 パネルディスカッションの報告】

ワーク・ライフ・バランス力向上セミナーの第2弾として「『人を生かす』経営の極意教えます！」をテーマにワーク・ライフ・バランスの先進取組企業の経営者3名を迎え、パネルディスカッションを行いました。

株式会社長岡塗装店
(古志野純子さん)

社員を大切にしたいという思いから個々のニーズに沿った働き方の出来る制度を作ることで人材が定着し、技術・技能の向上を図ることができた。

株式会社たねや
(山本昌仁さん)

企業内保育所を設置するなど、子育て中の女性が安心して働ける環境を整えることで、女性社員の定着率が向上した。女性の管理職も多く、サービス向上にもつながっている。

万協製薬株式会社
(松浦信男さん)

「社長直行便」「プチコミファミリー制度」など、社員が主役になれる仕組みづくりで社員のやる気が向上。生産性向上につながっている。



<パネルディスカッションの様子>

どの経営者からも、社員が働きやすくなる・働き続けられるための取り組みが、社員の力を最大限に発揮できる環境整備につながってきたという話しが聞かれました。

3社とも業種も企業規模も様々ですが、「社員を大切にする」という企業理念が各社のワーク・ライフ・バランスを進めることにつながっているのだと思いました。

最後に、コーディネーターの杉浦礼子さん(高田短期大学准教授)から「ワーク・ライフ・バランスの取り組みは、事業所の規模に関わらず出来るということ。自分の会社が抱えている課題を解決することで、働きやすい職場が作れるということ。そして、男性だけ、女性だけでなく、全ての人にとって働きやすい職場を作っていくことが、ワーク・ライフ・バランスのとれた社会、男女共同参画社会につながっていくのだと思います。」というお話をいただきました。

もっと、地域に女性の力を ～身近な自治会から～

三重県が「NPO等からの協働事業」として募集、採択した、男女共同参画みえネットの“新しい公共の場づくりのための「意思決定の場への女性の参画」促進応援プラン”のモデルケースの一つとして、四日市市は、女性の元気が活かせるまちづくりを目指して、“自治会での女性の参画”を進めるために、市内のNPO等市民と協働して、平成24年2月から様々な取り組みをしてきました。

市内に730ある自治会の内、女性が自治会長をしているのは、わずか19(2.6%)であるという現状を受け、女性の自治会長さんからお話しをお聞きしたり、地域の女性たちと懇談会を開きました。また、市内の自治会長さんにご協力をいただき、アンケート調査も実施しました。



懇談会で出された声やアンケート結果も踏まえて、“自治会に女性が参画していくために何が必要か”を市民のみなさんと一緒に考える場を持ちたいと思います。

地域で活躍している方々をはじめ、一人でも多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

ワークショップ

「自治会で女性の活躍をすすめるために」

【日時】 平成24年12月16日(日) 13:30～15:30

【場所】 本町プラザ1階ホール

【内容】 千金亭値千金(せんきんてい あたいせんきん)さんによる創作落語のあと、“自治会への女性の参画をすすめるために何が必要か”を一緒に考えます。

託児あり(無料・12/6までに申込要) **参加申込、託児申込は・・はもりあ四日市まで**

*ワークショップの後、これまでの四日市市の取り組み報告会を開催します。ワークショップにご参加いただいた方もぜひ引き続きご参加ください。(15:40～16:10の予定)

35歳からの、健康応援講座！(3回連続講座)

避けて通れない更年期、それなら明るく過ごしたいものです。プレ更年期からまっ最中の女性の方を対象に、お仕事帰りの方にも参加していただけるよう、今年は夕方からの開催にしました。

第1回「私のための食事」

管理栄養士さんからの更年期の食事の取り方のお話の後、簡単に作れて栄養バランスのよい食事作りの実習をしました。



「普段から塩分は気にしていたつもりでしたが、取りすぎかも？」

第2回「私の体を ヨガ でリフレッシュ！」

保健師さんから、更年期の運動の大切さについて聞いた後、更年期による不調を解消するヨガのポーズを教えていただきました。



「始めてヨガをして、気持ちがりフレッシュできた」「無理なく体がほぐれゆったりと気持ちよかった」

第3回は、12月9日(日)13:30～、本町プラザ1Fホールにて **無料の公開講座です** 女性だけのものと思われがちな更年期ですが、実は男性にもあるということ、男性の更年期が女性のストレスの原因になっていることなど、男性更年期外来の専門医師 石蔵文信さんによる講演会です。ぜひ、ご夫婦でご参加ください。もちろんおひとりさまもOK！ 申込受付中(当日参加可)です。

「(仮称)四日市市配偶者等からの暴力(DV)防止基本計画」の策定を進めています

市では、配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者の相談や支援等を平成5年より行っていますが、近年はその相談が急増しています。これまでは「男女共同参画プランよっかいち」に基づき、DV防止や被害者の保護及び自立支援に努めてきました。それらの取り組みの一層の充実を図るため、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)に定める市町村基本計画の策定を進めています。

このたび、計画の素案がまとまりましたので、以下のとおり市民のみなさんご意見を募集いたします。いただいたご意見を踏まえて検討を行い、平成25年3月に計画を策定する予定です。

計画の期間	平成25年度から平成32年度
プランの体系	<input type="checkbox"/> DVを許さない社会づくり
	<input type="checkbox"/> 安心して相談できる体制づくり
	<input type="checkbox"/> 被害者等の保護充実と加害者対策
	<input type="checkbox"/> 被害者等の生活安定と自立支援

計画(素案)についてのご意見をお寄せください

募集期間

平成24年12月5日(水)~平成25年1月8日(火)17時15分必着

資料の公表場所

市ホームページ(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>)または、男女共同参画課(本町プラザ3階)、市政情報センター(市役所北館1階)、市民窓口サービスセンター(近鉄四日市駅高架下)、楠総合支所および各地区市民センターで閲覧・配布しています。

お問い合わせ

四日市市役所 男女共同参画課 電話059-354-8331

今月のおすすめ本

今月は、はもりあ四日市に新しく入った本を3冊紹介します。



『ひまわりのおか』

ひまわりをうえた八人のお母さんと葉方丹 著
本の一節、「『もう泣かないからね』・・・やくそくできないやくそくだけど。」東日本大震災で74人の命が奪われた石巻市の小学校。子供達が避難しようとしていた場所に、わが子を亡くしたお母さんたち8人がひまわりを植えはじめました。わが子へ宛てた手紙やお話をもとにつくられた絵本です。



『人を助けるすごい仕組み』

西條剛央 著

ボランティア経験のない著者が、震災をきっかけに2人で立ち上げた「必要な物を必要な人へ届く流れを作る」プロジェクト。振り返ったら日本最大級のボランティアプロジェクトを運営していた。震災の状況だけでなく、あらゆる仕事の場で役に立つ本です。



『新・女性学への招待』 井上輝子 著

自分の人生の選択のヒントに、他の女性たちの生き方を理解するために、また世の中(女性がおかれている生きづらい状況)を変えるために。人生の途上で、女性であるがゆえの困難や悩みに直面している女性たちや、娘や孫の生き方に戸惑いを感じている女性たちに、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

今月のキーワード

ジェンダーギャップ指数(GGI)

ジェンダーギャップ指数(GGI)は、各国の社会進出における男女の格差を示す指標のこと。

これは、スイスのジュネーブに本部を置く独立の非営利財団法人世界経済フォーラム(WEF)が毎年公表しているもので、「経済分野」「政治分野」「教育分野」「保健分野」の4分野のデータから作成され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を示すものとなっています。

今年は、10月24日に2012年度のジェンダーギャップ指数が公表され、日本は「0.6530」で135カ国中101位と、昨年98位からさらに後退しました。この後退の原因は、日本が「政治分野」において議員の男女比が開いていることや、「経済分野」で女性の管理職・専門職などへの昇進がアジア地域で最も低い国の一つとなっていることが考えられます。

日本は先進国と言われ、教育や医療分野だけでなく経済分野でも進んでいる国であるはずなのに、男女の格差は未だに大きいです。

現在、他の国々がクオーター制の導入等によって男女の格差を縮めている中で、日本は男女の格差がなかなか縮まらない状態が続いています。日本でも、思い切った取り組みが望まれます。



登録グループイベント情報

平成25年
1月14日(月)

在宅ホスピスを知らせよう～心の宝箱から伝えたい～

(第1部)在宅ホスピス医内藤いづみさん講演会
(第2部)内藤いづみ氏&石賀丈士氏 いのちについて対談

時 13:00～16:00 所 四日市市文化会館第2ホール

入場料 1000円、前売り券700円(はもりあ四日市でも発売中)

申・問 伊世(090-8325-8816)(fax 321-4706)、すこやか(fax 328-4498)

平成25年
1月19日(土)

劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」

恐ろしいイタチのノロイ一族に襲われた島のネズミたちを守るため、町ネズミのガンバたちは大海原へ冒険の旅に出る！パワフルな歌と踊り、あきらめない心。ご家族で楽しめるミュージカルです。

時 16:00～開演 所 四日市市文化会館第1ホール

料 S席4500円(小学生以下4000円)、A席3000円、B席2000円

申・問 四日市友の会 法田まで(0594-21-7269 携帯090-7021-5730)



受講者
募集中!

あさひっこ「地域カレッジ」全9回 何かを始めてみたい。仲間が欲しい。私の経験が何かのお役に立てないか・・・と日々感じているあなたのための企画です。

12/12(水)内講演「小学校を拠点としたまちづくり」、12/19(水)内地域観察(バス視察)、1/23(水)内座談会「地域の課題を話し合おう!」、1/30(水)内セミナー「あなたの強みを発見!」、2/13(水)内パソコン「名刺づくり」、2/27(水)内座談会、3/6(水)内バス視察、3/20(水)内地域セミナー 場所 総合会館ほか
時間 10:00～12:00 参加費 無料(のみ1700円) 各講座ごとの申し込み制
申・問 健康センターあさひっこ 草川 090-8863-6286、fax 059-351-7651、

メール asahikko@m7.cty.-net.ne.jp まで

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は **「くらしの夢プラン」** さんです。 代表 長江 拓子
連絡先 059-321-6258

人生を自分らしく、心豊かに暮らすには?・・・という課題のもと、グループのメンバーが得意とする分野でのセミナーを通して、参加者と共に考えていければと考えています。**各種整理収納セミナー**：家族みんなが楽しく心穏やかに日々過ごす為に我が家の暮らしを見直し、整理する楽しさを体験。「整理収納の基本」「高齢期を迎える為の整理収納」「応用編」に加え、「親子 お片づけ教室」も始めました。**着物リメイクセミナー**：たんすで眠っていた着物が蘇る！モノを生かし、手先を活かし、お喋りしながら心晴れやか、出来上がりの服を着てお出かけしませんか。**カラーで変身セミナー**：色の力の作用を知って「心と体」を健康に、そして「自分に似合う色」を見つけて、人生を元気にイキイキ暮らしてみませんか。**手作り小物で楽しくセミナー**：一日で出来上がる簡単小物の手作りを楽しみます。**心も身体もすこやかセミナー**：健康・病気と暮らしについて見直し、老い・病気についての心の備えを、そして自分の意思を尊重した暮らしを続けていくお手伝いをします。

あとがき

2012年も残すところ1ヶ月となりました。新しい年を笑顔で迎えるためにも日々、健康には気をつけたいですね。みなさん、風邪を引かないよう温かくしてお過ごしください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml